

提出用

子ども・子育て支援に関するニーズ調査



この調査について、ご不明な点やご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

肝付町役場

福祉課

電話:0994-65-8413(内線:1176)

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの肝付町では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

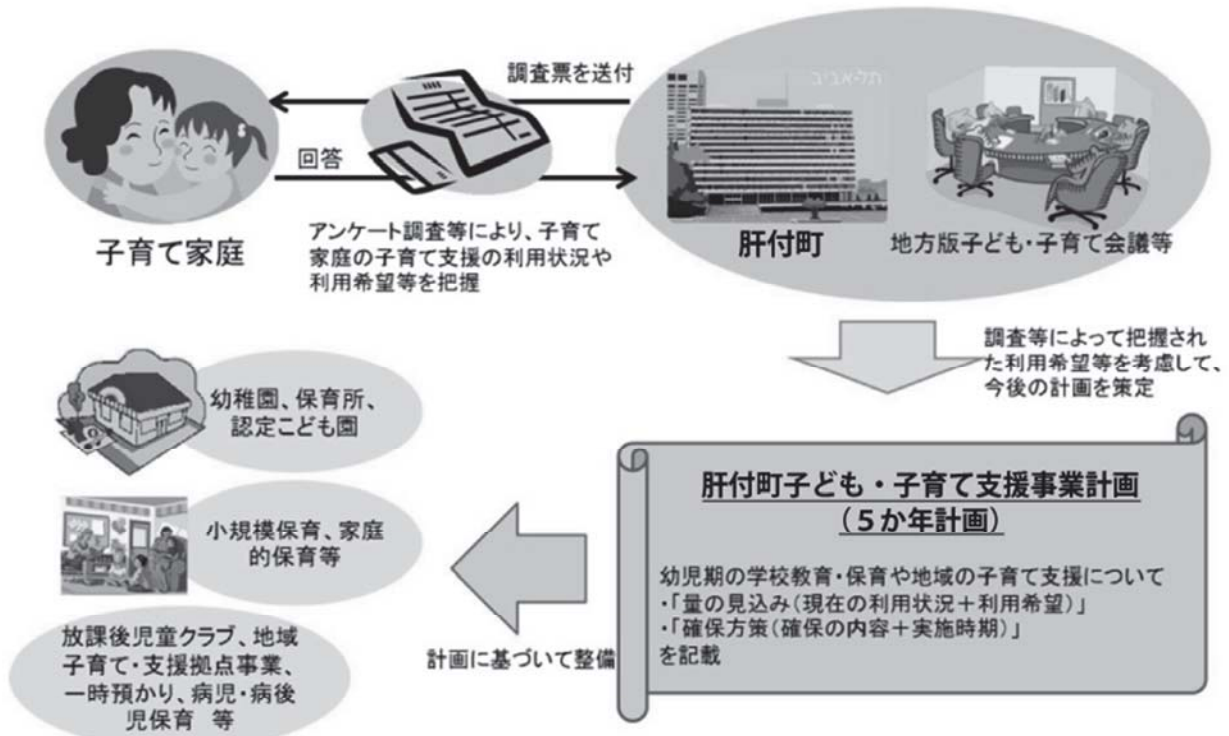
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を肝付町が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- 幼稚園…………… 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所…………… 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園…………… 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設
（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て…………… 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育…………… 問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、
問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 1. 野崎 | 2. 波見 | 3. 後田 | 4. 富山 | 5. 宮下 |
| 6. 前田 | 7. 新富 | 8. 南方 | 9. 北方 | 10. 岸良 |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係(夫婦)についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 幼稚園
6. 保育所 7. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境1つに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所
5. その他 ()

問 9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } 問 9-1 へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } 問 9-2 へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 問 10 へ | |

▼問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問 9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () ⇒ 問 10 へ |

▼問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

問 9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問 10-1 へ | 2. いない/ない ⇒ 問 11 へ |
|----------------------------|---------------------------|

▼問 10で「1.いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設(児童館等)・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他 () | |

問 11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} (1)-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} (2)へ
6. これまで就労したことがない	

▼(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

(1)-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間
------------------------------	-------------------------------

▼(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

(1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻 <input type="text"/> 時	帰宅時刻 <input type="text"/> 時
-------------------------------	-----------------------------

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} (2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} 問14へ
6. これまで就労したことがない	

▼(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

(2)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間
------------------------------	-------------------------------

▼(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

(2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻 <input type="text"/> 時	帰宅時刻 <input type="text"/> 時
-------------------------------	-----------------------------

▼問12の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

▼問 12 の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

問 14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）		
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい		
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい		
<希望する就労形態> <table border="1"><tr><td>ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）</td></tr><tr><td>イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）</td></tr></table>	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）		
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）		
⇒1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間		

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）		
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい		
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい		
<希望する就労形態> <table border="1"><tr><td>ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）</td></tr><tr><td>イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）</td></tr></table>	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）		
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）		
⇒1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間		

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、**問 15-1** に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ	2. 利用していない ⇒ 問 15-2 へ
-----------------------------	------------------------------

▼問 15-1～問 15-4は、問 15で「1.利用している」に○をつけた方にかがいます。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 家庭的保育 (育者の家庭等で子どもを保育する事業)	6. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
7. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)	8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業)	10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
11. その他 ()	

※全国統一の質問事項のため、肝付町では設置のない施設も含まれています。

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

※時間は必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間 (<input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時)
------------------------------	---

(2) 希望

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間 (<input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時)
------------------------------	---

問 15-3 現在利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他 ()

▼問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方うかがいます。

問 15-5 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()

▼すべての方うかがいます。

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの) | 6. 家庭的保育
(保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業) |
| 7. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) | 8. 自治体の認証・認定保育施設
(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) |
| 9. その他の認可外の保育施設 | 10. 居宅訪問型保育
(保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) | |
| 12. その他 (<input type="text"/>) | |

※全国統一の質問事項のため、肝付町では設置のない施設も含まれています。希望するものに○をつけてください。

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 居住している市区町村内 | 2. 他の市区町村 |
|----------------|-----------|

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
 ⇒ 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：）
 ⇒ 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

3. 利用していない

問 18 **問 17** のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
 ⇒ 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 ⇒ 1週当たり更に 回 もしくは 1ヶ月当たり更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
① 母親(父親)学級、両親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
② 保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ 家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤ 子育ての総合相談窓口	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯	
2. ほぼ毎週利用したい		□□	□□
3. 月に1～2回利用したい		時から	時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯	
2. ほぼ毎週利用したい		□□	□□
3. 月に1～2回利用したい		時から	時まで

▼問 20 の (1) もしくは (2) で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

▼「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		□□	□□
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		時から	時まで

▼問 21 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

▼問 24 で「1.利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

	一年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	カ. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

▼問 25 で「1. あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にかがいます。

⇒ア.以外を選択した方は 問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、**問30**へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。※時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館 ※1	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答してください。

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27

宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。
 ※時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館※ ¹	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※¹ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答してください。

▼問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問 28

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 29

宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

▼問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した |
|---|

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した |
|---|

▼問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間	□ 歳 □□ ヶ月	希望	□ 歳 □□ ヶ月
---------	-----------	----	-----------

(2) 父親

実際の取得期間	□ 歳 □□ ヶ月	希望	□ 歳 □□ ヶ月
---------	-----------	----	-----------

問 30-5 お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

□ 歳 □□ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □□ ヶ月

▼問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）

②父親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）

▼問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|



用語の説明

	用語	解説
1	フルタイム	事業所の所定労働時間を通じて勤務する労働形態のことをいいます。
2	パートタイム	所定労働時間のうち一部を勤務する形態を非常勤、パートタイムといいます。
3	病児・病後児保育事業	「病気回復期」の児童を家庭で保育できない時、看護師や保育士がいる専用施設内で一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援する事業です。
4	ファミリーサポートセンター	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行うものです。
5	夜間養護学校・トワイライトステイ	保護者が仕事やその他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり、児童の養育が困難となった場合等の緊急の場合に、児童養護施設など保護を適切に行うことのできる施設において、児童を預かるものです。宿泊可。
6	育児短時間勤務制度	職員の小学校就学の始期に達するまでの子を養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務の形態から選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができる制度です。
7	児童館	0才から18歳未満までの児童のための福祉施設です。子どもたちに遊び場と遊びを提供し、遊びを通して児童が心身ともに健やかに成長するお手伝いをするところです。
8	放課後子ども教室	放課後や週末に小学校の教室などを活用し、地域の方々が指導者やボランティアとして参加して、子どもたちがスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを実施する取り組みです。
9	放課後児童クラブ	労働などの事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対して、放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育をいいます。現在は「放課後児童クラブ」と呼ばれることが多く、行政においても「放課後児童クラブ」という名称を使用することが一般的です。